

2026 年度愛知県デジタル人材育成研修 (UX デザイン研修、UX/UI デザイン研修)

委託業務仕様書

1 委託業務の目的等

愛知県（以下「甲」という。）が策定した「あいちDX推進プラン 2030」では、全ての職員がDXの必要性を認識し、体系的な育成プログラムによって、それぞれの立場や役割で必要な知識を習得できている、組織全体でDXを推進する能力が継続的に向上していることを目指す姿としている。この計画に基づき、行政のデジタル化やDXを推進するため前提となる基礎知識の習得とともに、より専門的な知識の習得を通し、自らDXを推進できることを目指した研修を実施する。

2 本業務の内容

受注者（以下「乙」という。）は、契約締結後、1 ヶ月以内に実施計画書（カリキュラム・実施体制等）を作成のうえ、以下の業務を行うこと。

(1) 集合研修の実施

乙は甲が指定するテーマに沿った職員向け集合研修を実施する。

ア 研修名称

UX デザイン研修

イ 実施形式

原則、集合形式で、グループワークを実施すること。

ウ 受講対象者

所属長から指名された職員（各回約 40 名、合計約 80 名想定）

エ 研修時間及び回数

① 1 回あたり 6 ～ 7 時間程度の研修を同じ内容で計 2 回実施すること。

オ 集合研修開催時期＜予定＞

① 前期：2026 年 6 月 24 日、後期：2026 年 11 月 18 日

カ 開催場所＜予定＞

愛知県自治センター（名古屋市中区三の丸 3－1－2）

キ 研修内容

研修内容の詳細は、別表「研修プログラム一覧」を参照すること。

ク 研修テキストの準備

乙は、研修で使用するテキストの内容を甲と協議し、その内容等について甲の了承を得たうえで研修実施初日の 1 週間前までに完成させること。

ケ 事前準備

受講者の募集、決定に関する文書の作成及び研修当日の会場設営、研修に使用するプロジェクタ、スクリーン、マイクの準備、受付及び進行運営は、甲が実施する。

ただし、研修で講師が使用するノートパソコン、受講者に配布する研修テキスト及びその他研修で使用するツールや消耗品等は乙が用意すること。

コ 研修の考察

乙は、研修終了後に実施したアンケートを集計するとともに研修全体を通して考察し、今後の課題等を検証し報告すること。

(2) 動画による研修のための教材作成

乙は甲が指定するテーマに沿った職員向け研修教材（動画及びテキスト）を作成する。

ア 研修名称

UX／UI デザイン研修

イ 受講対象者

所属長から指名された職員または受講希望者

ウ 実施形式

動画及びテキストを使用した動画研修とする。

エ 納品時期

2026 年 8 月 31 日

オ 研修内容

研修内容の詳細は、別表「研修プログラム一覧」を参照すること。

カ 動画教材の作成

乙は、動画による研修で使用する動画教材の内容を甲と協議し、その内容等について甲の了承を得たうえで完成させること。なお、作成済みの教材を活用しても差支えない。また、動画のファイル形式（mp4 形式等）や 1 ファイルの容量制限等は甲と協議すること。

キ 研修テキストの準備

乙は、動画研修で使用するテキストの内容を甲と協議し、その内容等について甲の了承を得た上で完成させること。

ク その他教材

動画内で演習、例示等がある場合は、その教材や雛型も併せて提供すること。

3 管理要件等

(1) 集合研修の講師に必要な要件

集合研修の講師は、過去 3 年度以内（2023 年度～2025 年度）に行政機関、独立行政法人、地方公共団体又は地方独立行政法人等におけるデジタル関連の職員研修の講師の実績があること。なお、動画研修の講師はこの限りではない。

(2) 資料及びデータの管理

本業務の実施にあたり、必要な資料及びデータの提供は、甲が妥当と判断する範囲内で乙に提供する。なお、乙は甲から提供された資料は適切に保管するものとする。

また、契約終了後は本業務にあたり収集した一切の資料を速やかに甲に返送し、又は廃棄するものとする。

4 成果物

乙は、次に示す資料について、電子データを設定された期日及び本業務終了後速やかに甲に提出すること。

- (1) 実施計画書（カリキュラム・実施体制等）
- (2) 動画教材一式
- (3) 研修テキスト一式
- (4) 業務完了報告書（アンケート集計結果及び検証内容を含む）
- (5) 本業務を履行した時に作成した資料及び議事録

5 完了報告及び支払

乙は、成果物の提出を含む本業務が完了した時、業務完了報告書をもって作業の完了を届け出ること。

甲は、業務完了報告書を審査完了した後、請求書を収受して、代価を一括で支払うものとする。

6 著作権等

- (1) 乙は、第三者（甲及び乙以外のもの）が権利を有する著作物（写真等）を使用する場合には、著作権、肖像権等に厳重な注意を払い、当該著作物の使用に関して費用の負担を含む一切の手続きを乙において行うものとする。
- (2) 本契約に基づき納品されるすべての成果物の利用期限は無期限とし、特定の期間に制限されることなく使用することができるものとする。

7 留意事項

- (1) 乙は、甲との連絡調整を十分に行い、円滑に業務を実施すること。
- (2) 乙は、業務の全部又は一部を第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。ただし、あらかじめ甲の承諾を得たときは、主たる部分でない一部の業務に限り、第三者に委託し、又は請け負わせることができるものとする。なお、甲の承諾を得る場合は、再委託先の概要、体制、責任者及び業務内容を明記の上、事前に書面にて甲に申請しなければならない。さらに、甲の承諾後、再委託先との契約書の写しを提出しなければならない。

8 その他

- (1) 本仕様書はプロポーザル用であり、契約先候補者とは、内容を協議の上、契約を締結するものとし、契約内容等については、協議の中で、企画提案書等の内容から変更・修正する場合がある。
- (2) 本契約は、愛知県議会における当該業務に係る予算成立を条件とする。
- (3) 愛知県議会における予算成立までに当該業務に係る予算が変動した場合、「2026 年度愛知県デジタル人材育成研修委託業務企画提案実施要領」の「8 提案書の審査」による審査で最も優れているとされた企画提案者と当該業務の内容の変更について協議調整を行った上、契約交渉するものとする。
- (4) 本仕様書に記載のない事項については、甲と乙の協議によって決定するものとする。